

第4章 保健予防業務

保健予防業務は、地域住民の健康を守り、また、増進を図るため、感染症・結核等の予防対策、エイズの相談検査、精神保健福祉、認知症高齢者対策、難病の相談事業等を行っている。

1 精神保健福祉

地域におけるこころの健康の保持増進及び精神疾患の早期発見、早期治療や病気の再発防止に努めるとともに、精神保健福祉の関係団体との連携を図り、家族会、事業所、断酒会などの活動について支援した。また、管内市町村とともに自殺対策事業を実施した。

(1) 精神保健福祉相談事業(精神保健福祉相談及び訪問)

精神科嘱託医及び精神保健福祉担当職員が、心の健康や精神疾患に関する相談等について、本人や家族、関係者からの相談に応じ、必要な援助を行った。

ア 把握区分

区 分	人 員		相 談 ・ 訪 問 数 (延)	
	実 人 員	延 人 員	新 規	年 度 再
相 談	370	1,856	265	1,591
訪 問	67	171	3	168

イ 相談性別・年齢

区 分	性 別			年 齢									
	男	女	不明	0 ～ 9	10 ～ 19	20 ～ 29	30 ～ 39	40 ～ 49	50 ～ 59	60 ～ 69	70 ～ 79	80～	不明
実人員	155	204	11	0	20	41	46	56	78	27	34	21	47
延人員	753	1,090	13	0	63	222	226	465	490	190	78	59	63

ウ 訪問性別・年齢

区 分	性 別			年 齢									
	男	女	不明	0 ～ 9	10 ～ 19	20 ～ 29	30 ～ 39	40 ～ 49	50 ～ 59	60 ～ 69	70 ～ 79	80～	不明
実人員	26	41	0	0	4	7	11	15	18	7	4	1	0
延人員	82	89	0	0	6	11	17	38	40	44	11	4	0

エ 担当者（複数対応のため延人員より多くなる）

区 分	総 数	医 師	福祉職	保健師	その他職員
相 談	1,889	31	1,853	5	0
訪 問	179	6	171	0	2

オ 相談・訪問契機

区 分	実人員	本 人	家 族	医療機関	市町村	警 察	教育機関	相談支援 事業所	その他
相 談	370	95	91	23	57	15	4	7	78
訪 問	67	10	4	23	14	8	0	0	8

カ 相談種別

区 分	延 人 員	治療の問題	生活の問題	社会参加の問題	心の健康問題	そ の 他
相 談	1,856	1,050	593	30	112	71
訪 問	171	84	71	8	4	4

キ 診断名

区 分	実 人 数	器 質 性 精 神 障 害	ア ル コ ー ル に よ る 障 害	覚 せい 剤 等 他 の 薬 物	統 合 失 調 症	気 分 障 害	ス ト レ ス 関 連 障 害	生 理 的 障 害 等	成 人 の 人 格 ・ 行 動 障 害	精 神 遅 滞	心 理 的 発 達 の 障 害	小 児 期 ・ 青 年 期 の 障 害	て ん か ん	診 断 保 留	精 神 障 害 と 認 め ず	未 受 診	不 明
相 談	370	9	6	3	80	54	16	2	2	6	15	0	1	0	8	84	84
訪 問	67	0	0	2	27	9	3	0	0	2	2	0	0	2	2	11	7

ク 相談者

区 分	延 人 員	本 人	家 族	医療機関	市 町 村	そ の 他
相 談	1,948	350	390	460	323	425
訪 問	332	132	38	67	46	49

(2) 団体等支援

地域の精神保健福祉活動が円滑に進むよう市や関係団体との連携を図った。

団 体		回数	援助内容
ア 精神障害者家族会	大和さくら会（大和市）	2	総会出席、定例会
	あがむの会（綾瀬市）	2	総会出席、定例会
イ 断酒会	大和つくし断酒会	1	酒害相談員研修会
	矢崎断酒の会	0	
ウ 障害者総合支援法サービス事業等		5	ネットワーク会議
エ 当事者団体、精神保健ボランティア団体等		5	交流会
オ 市自立支援協議会	大和市精神保健福祉連絡会	9	会議
	綾瀬市精神分野連絡会	3	会議及びケース検討会

(3) 普及啓発

精神疾患の正しい理解とその対応について、管内医療機関精神科医による講演を行った。

開催年月日・会場	名 称	内 容・ 講 師	参加者
令和6年11月18日 大和センター	精 神 障 害 者 家 族 教 室	「こころの病気とその理解」 大船中央クリニック医師 平木克弘	30

(4) 精神保健福祉業務

ア 医療保護事務（進達件数）

	件 数	計
医 療 保 護 入 院 届	198	570
医 療 保 護 入 院 退 院 届	213	
医 療 保 護 入 院 更 新 届	159	

イ 精神科病院実地指導・実地審査

(ア) 実地指導

精神保健福祉法に基づき、管内の精神科病院に人権に配慮した適切な入院処遇などの指導を行った。

施 設 数	実施件数	実施日
1	1	令和7年1月9日（定期）

(イ) 実地審査

精神保健福祉法に基づき、管内精神科病院および管内の住民が入院する精神科病院の入院患者の入院形態の審査を行った。

施 設 数	審査 患者数	審 査 結 果								
		措置入院			医療保護入院			任意入院		
		要措置	措置 不要	継続	継続	移行	入院 不要	継続	移行	入院 不要
(定期) 1	6			1	4			1		
(新規) 0	0									

ウ 精神保健診察

精神保健福祉法に基づく精神保健診察の申請、通報に対し、精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行った。(夜間・休日対応を除く)

	受理 件数	調査 件数	精 神 保 健 診 察 結 果				
			要措置	不 要 措 置			
				入 院	入院外	不実施	取下げ
法 23 条	58	11	31	0	3	23	1

(5) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進

精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進を目指し、地域精神保健福祉連絡協議会及び実務担当者会議、精神保健福祉ケース会議を開催し、関係機関・団体との連携を図った。

ア 地域精神保健福祉連絡協議会

開催年月日・会場	内 容	委 員	出席数
令和 7 年 1 月 29 日 大和センター	1 報告 (1)令和 6 年度大和センター精神保健福祉事業報告 (2)精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築、推進 実務担当者会議 サポーター活用に係るワーキンググループ (3)地域自殺対策事業の取組 2 議題 (1)令和 7 年度大和センター精神保健福祉事業計画 (2)大和センター地域自殺対策検討会の設置について	管内精神科病院、地域援助事業者、当事者・家族関係団体、学識経験者、社会福祉協議会、行政職員	25

イ 実務担当者会議

開催年月日・会場	会議名	内 容	出席数
令和 6 年 5 月 20 日 大和センター	第 1 回実務担当者会議	管内 2 市及び精神病院との連絡会関係機関役割分担、連携	16
令和 6 年 10 月 22 日 大和センター	第 2 回実務担当者会議	管内 2 市及び精神病院との連絡会関係機関役割分担、連携	12

ウ 精神保健福祉ケース会議

開催年月日・会場	会議名	内 容	出席数
令和 6 年 6 月 13 日 大和センター	第 1 回ケース会議	精神保健福祉事例検討	18
令和 6 年 10 月 3 日 大和センター	第 2 回ケース会議	精神保健福祉事例検討	13
令和 7 年 1 月 16 日 大和センター	第 3 回ケース会議	精神保健福祉事例検討	10

エ ピアサポート活用に係る冊子作成（ワーキンググループ）

開催年月日	内 容	出席数
令和 6 年 6 月 10 日	インタビュー結果のまとめ、報告書作成	7
令和 6 年 8 月 19 日	インタビュー結果のまとめ、報告書作成	7
令和 6 年 10 月 21 日	インタビュー結果のまとめ、報告書作成	6
令和 6 年 12 月 6 日	第 2 回精神保健福祉地域包括ケアシステム会議	39

オ 措置入院者等退院後支援

ガイドラインに基づいて、措置入院者等に支援計画作成に関する同意を得た上で退院後支援を行った。（計画作成の同意がない場合も法第 47 条に基づく支援を行った）

措置入院者数	計画作成同意	計画作成	支援実施数
31	5	4	30

カ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム関係者等に対する研修への企画協力

(主催：県障害福祉課、運営：公益社団法人かながわ福祉サービス振興会)

開催年月日・会場	内 容	講師	出席数
令和7年2月19日 オンライン	A C T (包括型地域生活支援プログラム)から学ぶアウトリーチを中心にしたチームの作り方	メンタルヘルス診療所 しっぽふぁーれ 院長 伊藤順一郎	31

(6) 地域自殺対策事業

地域の自殺の特性について分析し課題を検討するとともに、自殺未遂者の支援困難ケースの対応を検討し、支援関係機関との連携を図った。また、普及啓発活動等を行った。

ア 会議等

開催年月日・会場	会 議 名	対 象	助言者	出席数
令和6年10月11日 大和センター	自殺未遂者支援検討会	地域援助事業者、行政職員	大和病院 医師 清水茜	13
令和7年1月29日 大和センター	自殺対策検討会	管内精神科病院、地域援助事業者、当事者・家族関係団体、学識経験者、社会福祉協議会、行政職員	大和病院副院長 荒川文雄	25

イ 普及啓発

取組年月日	内 容
令和6年9月1日～9月30日	自殺予防週間、自殺予防月間に合わせた関連ポスターの掲示 自死遺族の会案内リーフレット等を配架
令和7年3月1日～3月31日	

ウ ゲートキーパー養成研修

開催年月日	内 容	対 象	参加数	備考
令和6年度	ゲートキーパー養成研修	保健師実習生	11	
令和6年11月18日	大和市ゲートキーパー養成講座	大和市民	30	大和市主催
令和7年1月16日	綾瀬市新採用職員フォロー研修	新採用職員	26	綾瀬市主催

エ 自殺未遂者支援研修会

自殺対策事業への取組、未遂者支援への質的向上を図った。

開催年月日・会場	内 容	講 師	参加数
令和6年9月18日 大和センター	こころといのちをまもる対策推進事業研修会「アルコールの問題と向きあう」	女性サポートセンター Indah 施設長 小嶋陽子 (アルコール依存症当事者)	12

(7) 医療観察法に基づく支援

保護観察所との連携、ケア会議への出席等

内 容	対象者	回数
医療観察法対象者ケア会議等	3	11

(8) 入院者訪問支援事業

入院者訪問支援事業の運営状況の把握

内 容	回数
入院者訪問支援事業実務担当国会議出席	2

(9) 企画連絡会議

精神保健福祉関連業務の計画等について、精神保健福祉センターとの調整、企画を行った。

開催年月日	内 容	出席数
令和 7 年 3 月 6 日	精神保健福祉関連事業の実施状況等	6

2 認知症対策

認知症予防対策を効果的に推進するため実施した。

(1) 認知症相談・訪問・支援事業

専門的相談を行い、認知症疾患に対する知識と理解を深め適切な医療と療養生活ができるよう支援した。

ア 相談事業

(ア) 保健師等の随時相談 (訪問事業を除く) (件)

実 人 員	対 象		相 談 方 法			内 容（延数）							
	新 規	継 続	電 話	面 接	文 書 等	疾 病 一 般	問 題 行 動	治 療 関 係	看 護 介 護	入 院 入 所	サ ー ビ ス 介 護 保 険	そ の 他	合 計
51	25	26	38	12	1	18	22	22	7	8	5	43	125

(イ) 専門医の定例相談 (件)

実 人 員	対象		相談方法				内容（延数）							
	新規	継続	電話	面接	文書等	訪問	疾病一般	問題行動	治療関係	看護介護	入院入所	介護保険 サービス	その他	合計
8	8	0	0	5	0	3	6	4	4	4	0	3	8	29

イ 訪問事業

(件)

区 分	性別			年齢別					
	男	女	計	50 ～ 59	60 ～ 69	70 ～ 79	80 ～ 89	90～	合計
実人員	2	2	4	1	2	0	1	0	4
延人員	2	13	15	1	13	0	1	0	15

ウ 支援事業 認知症サポーター養成講座

開催年月日	回数	対象	参加者数
令和 6 年 4 月 19 日	1	看護学生	49
令和 6 年 9 月 6 日	1	看護学生	24
計	2		73

(2) 普及啓発事業

かながわオレンジ大使による本人発信活動や地域の実情を踏まえ、普及啓発等を実施した。

開催年月日・会場	内 容 ・ 講 師	対 象	出席数
令和 6 年 10 月 31 日 三機工業株式会社 三機テクノセンター	認知症研修 「すぐに役立つ 認知症の理解と予防」 ～あなたの生活が変わります～ 大和センター医師	三機テクノセンタ ー従業員	33

(3) 専門職派遣事業

認知症施策に関わっている関係機関の従事者研修を開催した。

ア 認知症初期集中支援チーム員会議

開催年月日	出席数
令和 6 年 4 月 25 日	6
令和 6 年 1 月 16 日	5
令和 6 年 3 月 27 日	7

イ 従事者研修

開催年月日・会場	内 容 ・ 講 師	対 象	出席数
令和 6 年 8 月 29 日 大和センター	認知症講演 清川遠寿病院病院長 岩元誠 認知症困難事例のグループディスカッション	管内地域包括支援 センター、行政職員	24

(4) ネットワーク構築事業

認知症施策市町村担当者会議・認知症等行方不明 SOS ネットワーク担当者会議を開催した。

開催年月日・会場	内 容 ・ 講 師	対 象	出席数
令和6年2月6日 大和センター	1 講演「MCI～正しい理解と効果的なアプローチ～」たなかクリニック 院長 田中千彦 2 情報交換 「認知症患者に関する相談への対応状況」 3 令和6年度厚木保健福祉事務所大和センター 認知症対策事業報告 4 認知症等行方不明 SOS ネットワーク活動 報告	管内地域包括支援センター、大和警察署、医療機関、行政職員	33

3 感染症予防対策

感染症の発生状況を的確に把握・分析し、情報提供することにより、感染症の発生及びまん延を防止することを目的に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下、「感染法」という)に基づき行われる国の「感染症発生動向調査」の円滑な推進に取り組んだ。

また、感染症が発生した場合には、感染症患者、病原体保有者及びその接触者を対象に疫学調査を実施し、感染症のまん延の防止に努めた。

(1) 感染症発生動向調査

ア 1・2類感染症(結核は除く)発生届受理数

発生なし

イ 3・4・5類感染症発生届受理数

感染症類型	疾病名	件数
3類	細菌性赤痢	2
	腸管出血性大腸菌感染症	5
4類	レジオネラ症	1
5類	クロイツフェルト・ヤコブ病	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	4
	水痘(入院例)	3
	梅毒	20
	播種性クリプトコックス症	1
	百日咳	2

(2) インフルエンザ施設別発生状況調査

本調査は、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校において休校、学年閉鎖、学級閉鎖があった場合に、その施設数を計上するとともに、当該措置を取る直前の学校、学年、学級における在籍者数、患者数、欠席者数を計上したものである。

	令和 6 年 9 月 2 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日報告分					
	休 校 数	学年閉鎖 学 校 数	学級閉鎖 学 校 数	在籍者数	患 者 数	うち欠席者数
保 育 所	0	0	0	0	0	0
幼 稚 園	0	0	0	0	0	0
小 学 校	0	0	23	793	168	146
中 学 校	0	0	8	461	93	72
高 等 学 校	0	0	2	76	20	19
計	0	0	33	1,330	281	237

(3) 感染症診査協議会

感染症法で施行する就業制限や入院勧告は人権を尊重する観点から必要最小限に行われるべきもので、その実施には慎重な判断が求められるため、同法第 24 条では保健所に感染症の診査に関して学問的、専門的及び法律的な観点から協議する第三者機関の設置が義務付けられている。

厚木保健福祉事務所感染症診査協議会就業制限諮問件数（結核を除く）

感染症類型	疾病名	件数
3 類	細菌性赤痢	1
	腸管出血性大腸菌感染症	5

(4) 感染症対策会議

感染症対策について、関係機関と連携したまん延防止と迅速かつ適切な対応に向けた情報の共有や地域医療体制及び患者支援体制の整備を行うため会議を実施した。新型インフルエンザ等地域医療体制会議と合同開催した。

開催年月日	内 容	対 象	出席数
令和 6 年 12 月 23 日 大和センター・ オンライン併用	1 管内の感染症発生状況について 2 最近の感染症の動向について	管内医師会・歯科医師会・ 薬剤師会・管内病院・管内 市町村担当課・消防本部・ 警察署・県関係機関	10 名

(5) 蚊の生息調査 デング熱やジカウイルス感染症など蚊媒介感染症対策の一環として実施

調査期間	調査場所	方 法	結 果
令和 6 年 6 月 ~ 10 月 月 1 回	引地台公園	トラップ(二酸化炭素による 誘引)にて蚊を捕獲	ウイルスを保有する蚊の発見なし

(6) 感染症予防教育

開催年月日・会場	内 容	講 師	出 席 数
令和 6 年 10 月 2 日 オンライン	【地域における感染症対策研修・訓練】 薬剤耐性菌研修	横浜市立大学附属病院感染制御部長 加藤英明	当所管内及び厚木管内医療従事者 41 名
令和 6 年 10 月 4 日 大和センター	従事者研修 ノロウイルス中心に実技演習を含む	大和センター医師及び保健師、感染管理加算 1 医療機関の感染管理看護師	当所管内の認可保育所及び認可外保育所の従事者 21 名
令和 6 年 11 月 12 日 大和センター	N95 マスクフィットテスト研修会	株式会社モレーンコーポレーション	大和市役所、綾瀬市役所、当所の感染症関連事業従事職員 14 名
令和 6 年 6 月 21 日 ロゼホームつきみ野	感染症研修会 標準予防策、疾患別対策等	大和センター医師及び保健師	ロゼホームつきみ野職員 57 名
令和 6 年 11 月 22 日 介護老人保健施設大地	感染症研修会 標準予防策、疾患別対策等	大和センター医師及び保健師	介護老人保健施設大地職員 約 30 名

(7) 患者発生に伴う指導・相談

ア 感染症相談

(件)

	計	新型コロナウイルス感染症	腸管出血性大腸菌感染症	麻疹(疑い含む)	インフルエンザ	感染性胃腸炎	侵襲性髄膜炎菌感染症	その他
電話・面接	435	160	59	13	34	13	21	156
訪 問	13	4	4	0	2	0	0	3

イ 患者(疑い例含む)及び接触者調査等積極的疫学調査実施状況

感染症分類	調査件数	検査人数	
		患 者	接 触 者
三類感染症	12	7	14
四類感染症	2	1	0
五類感染症	8	4	1
計	22	12	15

ウ 施設等での感染症集団発生時の指導

施設等で患者(疑いを含む)が発生し拡大傾向の場合に、集団発生として保健所へ施設長から報告があったものに対し、状況を確認し感染防止策の指導を行った。

(件)

	新型コロナ ウイルス感染症	インフルエンザ	感染性胃腸炎	その他	計
高齢者施設	44	0	2	0	46
障害者施設	3	0	1	0	4
保 育 所	0	5	3	2	10
幼稚園・学校	0	1	0	0	1
医 療 機 関	7	2	0	0	9

4 エイズ（性感染症）予防

エイズの正しい知識の普及・啓発を図るため、講演会を実施した。また、無料・匿名のエイズ検査、梅毒検査を原則火曜日に開催した。

（１）エイズ相談・検査（含む梅毒検査）

エイズ予防のため健康相談と血液検査を実施した。

検査実施日 39 回

ア 令和 6 年度エイズ相談・検査実施状況

HIV 抗原抗体同時検査（第 4 世代通常検査）を実施した。 * 臨時検査を含む。 (件)

年 度	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年 / 令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
相 談	463	343	305	194	184	161	156	282	122	110
検 査	* 136	* 110	* 107	* 98	86	82	80	138	90	93

イ 令和 6 年度エイズ検査（性・年齢別）実施状況

(件)

	総 数	0～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上
男	67	2	19	18	5	12	11
女	26	2	15	3	1	5	0

ウ 令和 6 年度梅毒検査実施状況

(件)

年 度	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年 / 令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
検 査	130	107	101	98	85	82	80	134	85	93

(2) エイズ予防普及事業

青少年エイズ・性感染症予防講演

実施年月日	実施校名(学年)	講 師	参加数
令和 6 年 11 月 7 日	神奈川県立綾瀬高等学校(1 年生)	林間クリニック産婦人科 医師 南淵芳	328
令和 6 年 12 月 3 日	大和商業高等専修学校(1 年生)	大和センター 医師	84

5 結核予防

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく健康診断及び患者指導を実施し、結核予防に努めた。

(1) 結核患者発生に伴う健康診断

ア 接触者健康診断・管理検診

患者が感染させた疑いがある接触者に健診を実施し、感染者の発症予防と発症者や感染源の早期発見に努めた。結核治療終了後必要な患者に検診を実施し、再発の早期発見に努めた。

区 分	対象数 (実数)	受 診 者(延数)		受 診 結 果 (実 数)		
		当 所	医療機関 *	要医療	経過観察	異常なし
接触者健康診断	74	73	4	8	1	68
管 理 検 診	0		0	0	0	0

区 分	直接撮影 (医療機関)	ツベルクリン反応検査		IGRA 検査		喀痰検査
		当 所	医療機関 *	当所 (QFT)	医療機関 * (QFT・T-spot)	
接触者健康診断	4	0	4 (延 4)	70 (延 73)	4 (延 4)	0
管 理 検 診	0					

* 受診券を発行し委託医療機関に受診した数

イ 外国籍県民結核健康診断事業

開催年月日	内 容	出席数
——	実施なし	—

(2) 結核患者発生に伴う患者指導

ア 服薬支援事業

結核患者が確実に抗結核薬を服用することにより、結核のまん延防止と、多剤耐性結核の発生を予防するために、D O T S (Directly Observed Therapy 直接服薬確認療法) を実施した。

訪問延件数	所内面接延件数	電話延件数	合計件数
116 件	66 件	138 件	320 件

イ DOTSカンファレンス

結核治療が必要な患者に対し、服薬終了まで支援するために、各地区担当保健師で支援方法等について検討した。

実施回数	対象延件数
12 回	316 件

ウ 定期病状調査

結核終了後の経過観察者の適切な患者管理のために、医療機関へ定期病状調査を実施した。

調査件数
2 件

(3) 結核患者の登録・管理

ア 登録患者数

(ア) 年末現在登録患者数 (受療状況別)

		総 数	活 動 性 結 核				不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	* 潜 在 性 結 核 感 染 症 (別掲)
			肺 結 核 活 動 性			肺外 結核 活動性			
			登録時 喀痰塗 抹陽性	登録時 その他の 結核菌 陽性	登録時 菌陰性・ その他				
令和 5 年		59	7	6	1	1	10	34	18
令和 6 年総数		57	4	4	0	3	8	38	19
受療別 (総数)	入 院 中	3	2	1	0	0	0	0	0
	外来治療中	9	1	3	0	2	0	2	14
	治 療 な し	42	1	0	0	0	8	33	5
	不 明	3	0	0	0	0	0	3	0
受療別 (大和市)	入 院 中	3	2	1	0	0	0	0	0
	外来治療中	7	0	3	0	2	0	2	11
	治 療 な し	31	1	0	0	0	5	25	5
	不 明	3	0	0	0	0	0	3	0
受療別 (綾瀬市)	入 院 中	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来治療中	2	1	0	0	1	0	0	3
	治 療 な し	11	0	0	0	0	3	8	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0

* 潜在性結核感染症について : 「結核医療の基準について (平成 21 年 1 月 23 日健感発第 0123005 号) 」により潜在性結核感染症の検査法や治療を規定。

(イ) 年末現在登録患者数 (年齢別)

	総 数	活 動 性 結 核				不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	* 潜 在 性 結 核 感 染 症 (別 掲)
		肺 結 核 活 動 性			肺外 結核 活動性			
		登録時 喀痰塗 抹陽性	登録時 その他の 結核菌 陽性	登録時 菌陰性・ その他				
総数(令和 6 年末)	57	4	4	0	3	8	38	19
0 ～ 9 歳	1	0	0	0	0	1	0	4
10 ～ 19 歳	0	0	0	0	0	0	0	0
20 ～ 29 歳	9	1	3	0	0	1	4	2
30 ～ 39 歳	12	0	0	0	1	1	10	9
40 ～ 49 歳	9	1	1	0	1	0	6	0
50 ～ 59 歳	4	0	0	0	0	1	3	3
60 ～ 69 歳	6	0	0	0	1	1	4	0
70 ～ 79 歳	4	1	0	0	0	1	2	1
80 ～ 89 歳	6	1	0	0	0	1	4	0
90 歳 ～	6	0	0	0	0	1	5	0

イ 新登録患者数 (令和5年・6年)

	総 数	活 動 性 結 核				* 潜在性 結 核 感染症 (別 掲)
		肺結核活動性			肺外結核 活動性	
		喀痰塗抹 陽 性	その他の 結核菌陽性	菌陰性・ その他		
令和 5 年	22	10	7	1	4	10
令和 6 年総数	24	7	9	3	5	17
0 ～ 9 歳	0	0	0	0	0	2
10 ～ 19 歳	0	0	0	0	0	1
20 ～ 29 歳	6	1	4	1	0	3
30 ～ 39 歳	4	1	1	1	1	7
40 ～ 49 歳	2	0	1	0	1	1
50 ～ 59 歳	2	1	0	0	1	2
60 ～ 69 歳	3	0	1	1	1	0
70 ～ 79 歳	2	2	0	0	0	1
80 ～ 89 歳	4	2	2	0	0	0
90 歳 ～	1	0	0	0	1	0

(4) 厚木保健福祉事務所感染症診査協議会(結核部会)

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第24条の規定に基づき、申告に係る必要な事項を審議するため設置され、委員6名で組織されている。(昭和61年4月から厚木保健福祉事務所内に設置)

ア 開催回数 24回

イ 大和センター申請分医療費公費負担診査件数（令和6年）

	総数	37条申請	37条の2申請							
			小計	被用者保険		国民保険		後期高齢者	生活保護	その他
				本人	家族	一般	退職者			
申請件数 (総数)	94	32	62	25	8	14	0	10	3	2
医療内容 承認	88	31	57	24	8	13		7	3	2
公費負担 不承認	4	1	3					3		
公費負担保留	2		2	1		1				

（５）結核医療従事者研修事業等研修会

実施年月日	内 容	講 師	参加数
——	大和センター主催での実施なし	——	—

6 指定難病等対策

原因が不明で治療が未確立の難病のうち、国の指定した疾病により治療を受けた者に対し、医療費公費負担申請事務の手続きを行った。平成27年1月からは「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行された。対象疾患は現在341疾患になっている。

保健所として、指定難病患者に対し、医療費助成手続き等の支援を行う。難病患者及びその家族に対し、在宅療養を支援するため、保健師による相談や家庭訪問、訪問相談・支援事業（訪問リハビリ相談）による個別支援を行い、医療相談事業（相談会、講演会、リハビリ教室、患者と家族のつどい等）による集団の支援を行う。

また、関係機関と連携し、難病の方も地域で暮らせる地域包括ケアシステムの構築に向け難病委員会を開催する。

（１）特定医療費（指定難病）医療援護

特定医療費支給認定申請状況

新規申請数	329件
更新申請者数	2,138件

(2) 保健師活動 (家庭訪問・所内相談・電話対応・文書)

	区 分	総 数	神経系	膠原病	消化器系	血液系	循環器
家 庭 訪 問	実件数	41	38	3	0	0	0
	延件数	155	150	5	0	0	0

所 内 相 談	区 分	総 数	面接	電 話	文 書
	延件数	3,617	2,498	1,089	30

(3) 難病患者地域支援対策推進事業 (旧難病患者地域支援ネットワーク事業)

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

開催年月日・会場	内 容	出席者	出席数
令和 6 年 8 月 5 日 大和センター・ オンライン併用	事例検討「一人暮らしの A L S 患者への療養支援について」 ～病状、療養場所と支援の方向性について	ケース関係者(医療・障害・介護の支援者、当事者、職場、行政職員)	11 名
令和 6 年 12 月 9 日 大和センター	事例検討「一人暮らしの A L S 患者への療養支援について」 ～病状の進行に伴う支援調整、療養場所と支援の方向性について	ケース関係者、東海大学医学部看護学科講師 石原孝子	17 名

イ 訪問相談員育成事業

(ア) 訪問相談員派遣事業

開催年月日・会場	内 容	相 談 員	相談数
令和 6 年 5 月 ～令和 7 年 3 月 10 回 難病患者宅	訪問相談員による相談	大和センター 保健師	実 6 件 延 12 件

(イ) 訪問相談員育成事業 (在宅難病患者等保健福祉従事者研修会)

開催年月日・会場	内 容	講 師	参加数
令和 6 年 10 月 30 日 大和センター	神経難病患者への効果的な支援 ～嚥下障害のリハビリとケア・食事のコツ～	大和センター 歯科医師・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士、歯科衛生士、管理栄養士	20 名
令和 6 年 12 月 17 日 居宅サービスセンター泉正園・ オンライン併用	難病について～支援制度、各論 (パーキンソン病) ～	大和センター 保健師	24 名

ウ 医療相談等事業

(ア) 難病相談会

開催年月日・会場	内 容	相 談 員	回 数
令和 6 年 6 月～7 月 大和センター	更新申請時の医療相談	大和センター 保健師、 事務職	29 回

(イ) 難病講演会

開催年月日・会場	内 容	講師・助言者	参加数
令和 6 年 10 月 2 日 大和センター・ オンライン併用	膠原病との上手な付き合い方～病気と治療の 理解、最近の話題まで～ 「変わりつつある膠原病治療(診療)について」	北里大学病院 リウマチ膠原・ 感染内科 准教 授 奥健志	25 名

(ウ) 難病リハビリ教室(難病ふれあい教室)(対象者：主に神経系難病等の患者及び家族)

開催年月日・会場	内 容	講 師	参加数
令和 6 年 10 月 16 日 大和センター	自宅でできるリハビリ第 1 回 座ってできる転びにくくなる リハビリ、 呼吸を楽にするリハビリ	訪問看護リハビリステーション ケアフォレスト大和 理学療法 士・呼吸療法認定士 中島活弥	19 名
令和 6 年 11 月 13 日 大和センター	自宅でできるリハビリ第 2 回 座ってできる転びにくくなる リハビリ、 飲み込みを良くするリハビリ	訪問看護リハビリステーション ケアフォレスト大和 理学療法 士・呼吸療法認定士 中島活弥、 大和センター 歯科医師・摂食リ ハビリテーション認定士	20 名

(エ) 難病患者と家族のつどい(対象者：対象疾患患者及び家族)

開催年月日・会場	内 容	助 言 者	参加数
令和 6 年 10 月 2 日 大和センター・ オンライン併用	膠原病患者交流会 (講演会に続き開催)	北里大学病院リウマチ膠原病・感染内 科 准教授 奥健志、 全国膠原病友の会神奈川支部 支部長 後藤真理子、大和センター職員	18 名

エ 訪問相談・指導事業

開催年月日・会場	内 容	相 談 員	相談数
令和 6 年 4 月 17 日 6 月 19 日 9 月 18 日 12 月 4 日 難病患者宅	訪問リハビリ 相談	社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション 事業団 地域リハビリテーション支援センター 理学療法士 有馬一伸、作業療法士 吉澤拓 也、ソーシャルワーカー 小川淳	5 件

(4) 難病地域対策協議会 (難病委員会)

関係機関と連携し、難病の方も地域で暮らせる地域包括ケアシステムの構築に向け委員会を開催する。

開催年月日・会場	内 容	委 員	出席数
令和 7 年 1 月 20 日 大和センター	1 報告 (1) 特定医療費受給者証交付状況 (2) 令和 6 年度大和センター難病対策事業実施状況 (3) 難病患者支援対象者及び災害時要援護者の支援状況 (4) かながわ難病相談・支援センター活動状況 2 議題 (1) 令和 7 年度大和センター難病対策事業実施計画 (2) 難病の方が地域で安心して暮らせる地域包括ケアシステムの構築について～災害時の難病患者の支援、地域資源の活用等～	管内医師会、管内地域包括支援センター代表者、かながわ難病相談・支援センター、学識経験者、行政職員	18 名

(5) 在宅難病患者受け入れ病床確保事業

開催年月日	内 容	対 象 患 者	利用数
随 時	難病患者の在宅生活を支えているご家族などの介護者が、自身の病気や事故などの理由により一時的に介護ができなくなった場合に、患者が県内の協力病院に短期間の入院をすることができる	・神奈川県内(横浜市、川崎市および相模原市を除く)に在住し、神奈川県指定難病医療受給者証が発行されている ・医療機器の装着や医療処置が常時必要 ・症状が安定している	0

7 臓器移植対策事業

血液難病患者にとって有効な治療である骨髄移植を推進するため、骨髄ドナー登録窓口を設置した。

開 催 回 数	登 録 者 数
5 回	1 人

8 原爆被爆者援護対策

本県では、「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（被爆者援護法）」に基づき、被爆者及び被爆者のこどもに対する保健、医療及び福祉にわたる総合的な援護対策を行っている。

被爆者健康手帳や被爆者のこども健康診断受診証の交付や各種手当等の支給に係る申請手続き経由事務を行うとともに、年２回の定期健康診断を実施した。

（１）被爆者健康手帳等の交付

援護者援護申請手続き関係経由事務受付実績		【単位：件】
ア 被爆者健康手帳関係 被爆者健康手帳再交付申請	1	
イ 各種手当 健康管理手当認定申請 医療特別手当証書再交付申請 葬祭料支給申請	1 1 7	
ウ 医療 一般疾病医療費支給申請（本人受領） 被爆者一般疾病医療機関指定申請	7 1	
エ 福祉 訪問介護利用被爆者助成受給者資格認定申請	1	
オ その他の事業 はり・きゅう・マッサージ施術費補助申請	2	
カ 被爆者のこども関係 被爆者のこどもの医療費支給申請 被爆者のこどもの健康診断受診証交付、再交付申請	24 4	
キ 届出	11	
計	60	

（２）被爆者健康診断

受診状況

	総 数	被爆者	特例受診		被爆者のこども	要精検者	要治療者
			1 種	2 種			
令和３年度	4	2			2	2	
令和４年度	4	1			3	0	
令和５年度	4	1			3	0	
令和６年度	4	0			4	2	

9 肝臓疾患相談事業

C型及びB型肝炎ウイルス検査を実施し、検査の普及を図るとともに、肝臓疾患患者や家族に対し、医療及び日常生活に係わる相談指導、助言を行い、病状悪化及び感染拡大の防止を図った。

(1) C型及びB型肝炎ウイルス検査

	所内（受診人数）	委託医療機関（受診人数）
C型肝炎ウイルス検査	5	0
B型肝炎ウイルス検査	5	0

(2) 肝炎治療医療費助成

神奈川県肝炎治療医療給付実施要綱に基づき、C型及びB型の肝炎ウイルスのインターフェロン治療、B型肝炎ウイルスの核酸アナログ製剤治療、C型ウイルス性肝炎のインターフェロンフリー治療を行う者に対して、医療給付等の申請について県への経由事務を行った。

区分	肝炎治療医療費助成申請件数
交 付 申 請	168
そ の 他	10

10 石綿による健康被害の救済支援事業

石綿（アスベスト）に工作中に接触した労働者だけでなく、持ち帰った石綿を吸い込んだ家族や施設周辺に居住していた住民なども長い潜伏期間を経て中皮腫や肺がん等を発症することがある。当所では、石綿健康被害救済法（平成18年施行）により、労災補償の対象とならない方を対象に独立行政法人環境再生保全機構で行う医療費等の救済給付を支給する「石綿健康被害救済制度」の申請に係る受付・経由事務を行っている。

【相談対応実績】

石綿による健康被害に関する電話やメールによる次の相談に対応した。

相談件数	相談内容
4	・「石綿健康被害救済制度」利用に関する相談 ・労災補償の対象となる可能性の高いケースに関する相談 ・石綿健康診断を実施している医療機関の情報に関する問合せ

申請受付実績はなし